


☆ e-mailの送受信に「Outlook Express」を使用している場合の留意事項

分割サイズの設定

Outlook Expressで大きな添付ファイルを分割して送信するには、メールの「インターネット アカウント」設定を使う。つまり、インターネットの接続アカウントごとにメールを分割して送信するかどうかを設定する(この設定はデフォルトでは無効になっている)。トラブルを避けるためにも、必要なときだけ分割送信を有効にしてメールを送信し、送信が終了したら、分割送信を無効にするのがよいだろう。Outlook ExpressやOutlook 2000などは分割して送信されたメールも正しくデコードできるが、Outlook 2002やOutlook 2003はデコードできないので、そのようなデコード機能を持たないユーザーに対して、間違っただけで分割したメールを送ってしまうようにするための。なおOutlook 2002やOutlook 2003がこの機能を持っていない理由は定かではないが、分割されたファイルはウイルス・チェックなどをすり抜けてしまう可能性があるため、わざとサポートしていないのかもしれない。

Outlook Expressで分割送信を行うには、[ツール] - [アカウント]メニューで[インターネット アカウント]のダイアログを表示し、[メール]タブで該当するアカウントを選択する。

1. 「Outlook Express」を起動させます。
2. 「ツール」から「アカウント」を選択して、「インターネットアカウント」を表示し、「メール」タブをクリックします。⇒右のようなダイアログ(小窓)が表示されます。
3. 「種類」の列に「メール(既定)」となっている行の「アカウント」をクリックします。⇒右下のようなダイアログが表示されます。



分割送信するアカウントの指定
添付ファイルの分割送信の設定は、Outlook Expressの【オプション】ではなく、メールのアカウントごとに行う。

1. メールアカウントを表示させる。
2. 該当するアカウントを選択する。
3. これをクリックして、[プロパティ]を表示させる。

次にメール・アカウントの[プロパティ]をクリックし、[詳細設定]タブを選択する。そして[次のサイズよりメッセージが大きい場合は分割する]を有効にする。

4. 「詳細設定」のタブをクリックします。
5. 「送信」の設定を「512KB」以上に設定します。
※「次のサイズよりメッセージ～」のチェックボックスを外してもOKです。
6. ダイアログの「適用」ボタンを押し、次に「OK」ボタンを押します。
7. 「×」ボタンをクリックし、これら設定変更の作業を終了します。
8. なお、念のため、Windowsの「スタートメニュー」から手でPCを再起動させます。
9. 再起動後に、データ入力した「工事実績調査票」を別冊手引きの送信例(3ページ目)を参考に、添付のうえ送信してください。



送信メールの分割の設定

1. [詳細設定]タブを選択する。
2. これをオンにすると、指定されたサイズより大きなメールは分割されて送信される。
3. 分割の基準となるサイズ。

上の画面の③には、メールを分割するサイズ(Kbytes単位)を指定する。例えば512を指定すると、2Mbytesのメールは4通に分割されることになる。実際にどの程度のサイズでメールを分割すればよいかは特に基準があるわけではないが、デフォルトの60(Kbytes)は、現在となっては少々小さすぎるのではないだろうか。ニュース・グループへの投稿などではいまでもこのくらいのサイズで分割するのが望ましいとされているが(このメールの分割機能は、ニュース・グループで使われているのと同じ)、メールでは相手と同意が取れさえすれば、もう少し大きなサイズにしてメールの総数を減らし、システムへの負担を少なくするのがよいだろう。それにあまり小さくすると、通常のテキスト・メールですら分割の対象になってしまうので、256Kbytesとか512Kbytes程度でよいと思われる。

<http://www.atmarkit.co.jp/fwin2k/win2ktips/369attmail/attmail.html>